

会議録

案 件	令和4年度 第2回子ども・子育て会議について		
日 時	令和5年2月9日（木）10:00～11:30	開 催 場 所	本庁舎4階会議室1AB
出席者	【子ども・子育て会議委員】 会長 他16名 【事務局】 こども希望部長 他15名		
資 料	・子ども・子育て会議 会議資料 ・かけっこ記事（広報2月号）		
概 要			
<p>1 開会（事務局） 欠席者1名により、委員の過半数以上の出席により会議の成立（17人／18人）</p> <p>2 会長あいさつ 会長より挨拶</p> <p>3 報告事項</p> <p>（1）第2期子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて（次第）（事務局） 国県との協議により、第1回会議で協議した「計画変更の見直し」について不要であることを報告。</p> <p>（2）令和5年度における定員変更の協議方法について（資料1）（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同様の協議日程にて、10月の入園募集までには、協議を実施する。 ・3月に園連絡会で説明し情報共有する。 <p>【前年度の相違点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国県費補助事業で実施した事業については、原則、3年は変更不可とする。 <p>（3）子ども・子育て支援事業計画に掲げる主要事業の実施状況について（資料2）（各課担当より説明） ～ 資料2の内、抽出した事業について担当課より説明 ～</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 母子健康手帳の交付・妊婦相談、乳児家庭全戸訪問事業（健康医療課） ② かけがわ乳幼児教育未来学会事業（こども希望課） ③ 大東大須賀区域幼稚園保育園の認定こども園化事業（こども政策課） ④ 学校教育情報化推進事業（学校教育課） ⑤ 家庭児童相談室事業（こども希望課） ⑥ 放課後児童健全育成事業（教育政策課） ⑦ 子育てに優しい事業所づくり事業（こども政策課） ⑧ 中学校区学園化構想推進事業（教育政策課） 			

補足意見（副会長）

学園化構想が、思う様に進まない要因の一つとして、公立小中学校の教員が人事異動等により、途中で変わってしまうため繋がっていかない。それに対して園は、異動等の影響を受けにくいいため、あまり変わらない。

教育政策課と園は、直接的な繋がりは無いかもしれないが、今後、多少でも繋がりを持っていくようにすることで、前に進んでいく可能性がある。

4 協議事項（意見交換）

【議題】 ウィズコロナ時代における子育て施策のあり方について（資料3）

委員からの事前回答を参照しながら、意見及び2年間の委員としての感想を述べてもらう。

【課題1】

コロナウイルス感染が出生数の低下の要因であるかは不明だが、コロナとの共存時代において、0歳児人口を維持、もしくは増加させるために必要な施策は？

○委員

- ・施設を利用する親子は集まった時に情報交換をしている。最近では新聞を取らない世帯もいるので、若い世帯が情報を得られるように、積極的に掛川市内の施設の情報発信して欲しい。
- ・保護者が、雨の日の遊び場を望んでいるので、たまり一なの室内遊び場の整備を早いうちに実施して欲しい。
- ・土日に開放している施設が増えるとうれしい。

○委員

- ・結婚できる環境の整備が必要
- ・制度の充実による長期的な保育士の就職支援が必要

○委員

- ・他市の事例を紹介

人口減少していたが、施策により人口が戻り始めた市がある。様々な要因が重なっている。制度の充実の点で、妊娠から子育て世代が気軽に相談できるオンライン窓口の設置とあるが、他市では、妊娠時から子育て相談を実施している。

地域ごとに子育てスポットがあるので、行政機関が連携しながら、地域の子育て世代の方がわかるように情報発信等により、子育てしたい気持ちにさせるのが大切。

○委員

- ・価値観が変化してきた。（子どもを持たない夫婦、晩婚化等）
- ・人口を増やすには3人産むことが必要となるが、3人目を持たない理由として、経済的な問題がある。
- ・教育費に関して、親に対して育てやすい環境の充実。
- ・住宅支援
- ・働く場所の提供（企業誘致）

○委員

- ・コロナでサロン・サークルの活動が出来なかった。今年度、リーダーの交流会があったが、その際に、外部と繋がりができ安心した。

- ・一定の世代だけの支援ではなく、子どもの成長に合わせて全ての世代での支援を、連携しながら進めることが大切。

【課題2】

今年度は、コロナ、インフルエンザの同時流行も懸念されている。

このような中、園・事業所・家庭において、それぞれ、どのように感染対策を実施しているか？

○委員

- ・園・学校では、先生が感染対策を徹底して実施してくれている。
- ・家庭ではマスクの着用が徹底されていないが、家庭内での感染対策が大事。
- ・学級閉鎖時リモートで授業を実施したが、先生方が大変だったと思う。

○委員

- ・手洗い・うがいの徹底を実施している。(基本が大事)
- ・家庭内感染があり、持ち込んでしまうと対応が難しい。
- ・家庭の協力をいただく事が大事

○委員

- ・不特定多数の利用のため消毒の徹底
- ・連絡先を控える
- ・小学生以上はマスクをして欲しいが、未就学児は、園によって方針が違うので、未就学児は、保護者の判断に委ねている。
- ・定期的なおもちゃの消毒等が必要のため、おもちゃの数を減らしている。
- ・行事内容も、職員内で話し合っ、人数制限を行う中で、接触を避ける内容の遊びを考え、コロナ渦だからこそ出来るものを実施している。
- ・保護者の数も制限しているが、帰宅後も楽しめるような工作なども提供している。

○委員

- ・コロナ対策は継続して実施している。
- ・感染力が強くなっている傾向もあり、どのように拡大を防ぐかが課題。
- ・乳児のマスクが難しく、そこから感染が広がった時もあった。
- ・コロナに合わせて保育の充実を図らなければならないが、まだ充実していない。
- ・情報提供の面で、以前は、コロナ感染を隠すような傾向があったが、現在は、必要な情報、正しい情報を伝えるようにし、感染拡大を防ぐことにつながる。

○委員

- ・学童保育は、狭い空間で行われるので、換気により感染対策をしてくれている。
- ・何かあると情報をくれるので、安心して預けている。
- ・感染を徹底し持ち込まないようにすることが大事。

【課題3】

昨年9月に県内の認定こども園で園児がバスに置き去りにされ死亡する事件が発生した。バス事件に限らず、このような事件が2度と発生することなく、園児の安全・安心を確保していくために必要な施策は？

○委員

- ・人口減少により、園の運営が厳しくなる。

○委員

- ・バス事件があった際に、預けている園の園長先生から、便りにより、すぐに説明があったので、安心できた。
- ・ヒューマンエラーをどこまで少なくするか、行政との連携で具体的にどのような事ができるのか知りたい。
- ・こども希望部と教育部との課題が異なっていることを実感し、今後、どのように連携していくか気になる。

○委員

- ・事件後、すぐに掛川市職員によりチェックが入った。
- ・市の職員が定期的に見回ることが大事（監査では無い）で、これによりお互い気づくことがあると思い提案させていただいた。

○委員

- ・事件後、すぐに職員間で話し合いをした
- ・令和3年からICT化により保護者にアプリを入れてもらい、登降園を打刻している。それだけに頼らず、紙でも管理している。活動の前後の人数確認も一人ではなく、お互いに確認し合うことを再度、確認し合った。
- ・掛川市が多く支援事業を行っているので、園でも共有できた。

○委員

- ・チャイルドシート等の乗降を保護者と確認する。
- ・室内の遊び後も、必ず人数確認をする。
- ・多くの事業があるので、どのようにこの情報を知っていくかも大事である。

【その他課題】

○委員

- ・かけがわ乳幼児教育未来学会で情報共有をして、どのようにすればこのような事が発生しないか共有した。
- ・今回のバス事件が発生した要因の一つとして、コミュニケーション不足もある。

○委員

- ・国も男性の育休制度の充実を図っているなので、事業所認定で、父親の育休制度の充実した事業所を認定して欲しい。
- ・潜在保育士が多いので、保育士確保の支援を充実させて欲しい。

↓

◎事務局回答

(事業所認定)

男性の育休制度充実については、事業所認定の項目を設けて社労士とタイアップし、チェックシートにより点数をつけている。このような取組をリニューアルしたかけっこで紹介していきたい。

(保育士確保)

- ・ 県の制度に上乗せして、市でも貸付を実施している。
- ・ 毎年、お仕事応援相談会を開催し、就職に繋がっているが、もっと充実するように他市の事例等を研究していきたい。
- ・ 来年度の事業においても、保育士確保を充実させていきたい。

【総括】

◎会長

- ・ 保育士の確保は難しい、学生と接する中でもそう感じる。
- ・ コミュニケーションが難しいという点に関して、5月の学会で発表するので、まだ具体的な事は発表できないが、現場の保育士にアンケートを実施し、ある程度の傾向がわかった。

【研究が公表されるまでは、非公表】

◎副会長

- ・ 周辺の自治体に比べて、掛川市は多くの支援事業を実施している。
- ・ 人口減少については、国の問題で流れもある。これに対するには、子どもを持つ幸せを感じてもらおうようにしていかなければならない。
- ・ このような意見交換を実施する事は大切。

5 その他

(1) 令和5年度の開催スケジュールについて(事務局)

次第により説明(3回開催予定)

(2) かけっこ「リニューアル」について説明(事務局)

- ・ リマインドメールで予防接種・健診日程をお知らせ
- ・ 本格稼働 3月上旬

6 閉会